

令和4年度活動報告及び収支決算について

I 令和4年度活動報告

1 機関誌の発行

機関誌「子ども樹木博士ニュース」を令和4年6月1日(No. 87)、9月1日(No. 88)、12月1日(No. 89)及び令和5年3月1日(No. 90)の4回発行(各回850～900部)し、会員や実施団体をはじめ、林野庁、森林管理局・署等、都道府県、関係団体等に配布した。

(参考)「子ども樹木博士ニュース」(No. 83～86)の掲載概要

No. 87

- 巻頭言：ハロウィンアレンジメントと森のようちえん (柳原 高文)
- 特集Ⅰ：植物の不思議 ホウノキの戦略 (安樂 行雄)
- 特集Ⅱ：観察会テンパリ日記(25) (岩谷 美苗)
- 事例報告：みどりの少年隊指導者研修会の開催 て (梶原 利廣)
- シリーズⅠ：樹木名の話(25) —オウチとセンダンの歴史 (埜田 宏)
- シリーズⅡ：東南アジアの木々たち(55)
—植物の成分と人との関わり②— (梅本 浩史)
- 子ども樹木博士質問コーナー(67) (寺嶋 嘉春)
- 事務局だより：令和4年度 森林インストラクター
「資格試験」と「養成講習Ⅱ」の申し込み開始

No. 88

- 巻頭言：親・学校公認の泥んこ遊び (宮入 芳雄)
- 特集Ⅰ：植物の不思議 サキシマスオウノ木の戦略 (安樂 行雄)
- 特集Ⅱ：観察会テンパリ日記(26) (岩谷 美苗)
- 事例報告：ワークシートを活用した子ども樹木博士認定活動(当協議会)
- シリーズⅠ：樹木名の話(26)
—アケビ、ミツバアケビとムベ— (埜田 宏)

- 子ども樹木博士認定活動の進め方 (当協議会)
- 子ども樹木博士質問コーナー (68) (寺嶋 嘉春)
- 事務局だより：「平成3年度の子ども樹木博士認定活動の実施状況」
(令和4年8月15日現在)
「子ども樹木博士認定活動推進協議会新規会員募集」
「実施結果のご報告のお願い」

No. 89

- 巻頭言：地味だけど結構おもしろいシダ (赤木 利行)
- 特集Ⅰ：植物の不思議 どこの色・色のつく樹木 (安樂 行雄)
- 特集Ⅱ：他の植物の力を借りる植物たち
－植物の高さを利用して生きる植物－ (鳥越 まり子)
- 事例報告：樹名板を作り続けて17年 幕張海浜公園の
木々に花の絵や木の実で飾られた樹名板 1 (中田 真也子)
- シリーズⅠ：樹木名の話 (27) －ミヤマシキミー (埜田 宏)
- シリーズⅡ：観察会テンパリ日記 (27) (岩谷 美苗)
- シリーズⅡ：東南アジアの木々たち(56)
－植物の成分と人との関り③－ (梅本 浩史)
- 子ども樹木博士質問コーナー (69) (寺嶋 嘉春)
- 事務局だより：「子ども樹木博士認定活動推進協議会新規会員募集」
「子ども樹木博士のための樹木ガイド」のご案内
「実施結果のご報告のお願い」

No. 90

- 巻頭言：住宅地の野鳥 (井上 公基)
- 特集Ⅰ：植物の不思議 －酸性土壌を好む樹木－
モミ・ツガ・ハリモミ (安樂 行雄)
- 特集Ⅱ：他の植物の力を借りる植物たち
－植物の高さを利用して生きる植物－ (鳥越 まり子)
- シリーズⅠ：樹木名の話 (28) －エノキ－ (埜田 宏)
- シリーズⅡ：観察会テンパリ日記 (28) (岩谷 美苗)
- シリーズⅢ：東南アジアの木々たち(57)
－植物の成分と人との関り④－ (梅本 浩史)

- 子ども樹木博士質問コーナー (70) (寺嶋 嘉春)
- 事務局だより : 「子ども樹木博士認定活動推進協議会新規会員募集」
「認定書の配布のお知らせ」
「実施結果のご報告のお願い」

2 認定活動等の実施状況

(1) 認定活動の推進

令和4年度の認定活動について、実施団体から事務局に報告等されたものは、実施回数で延べ14回、参加人数で延べ約3.1百人（前年度は14回、約3.2百人）となっている。

また、地域ごとには、9都道府県で、11団体による実施（前年度は9都道府県、12団体による実施）となっている。

(2) 認定証の配布等

要望を受けて、「認定証」、認定活動の「進め方」、その他の資料等を配布した。このうち、認定証の配布数は、430枚（前年度478枚）となっている。

（注）認定証にはA5サイズと名刺サイズの2種類のものがあり、これらを併せてセットで要望されるケースもある。

(3) 「子ども樹木博士のための樹木ガイド」の普及

「子ども樹木博士のための樹木ガイド」の普及に努めた。配布数は157冊（前年度10冊）となっている。

(4) 交流会の開催

令和4年5月15日、東京都立木場公園において実施された「2022年みどりとふれあうフェスティバル」に出展し、(一社)日本森林インストラクター協会の協力により、来場者を対象とした子ども樹木博士認定活動を実施した。森林インストラクター及び環境教育に取り組む大学生も説明者として参加した。

(5) インストラクターの紹介等

実施団体からの要請に応じ、(一社)日本森林インストラクター協会等と

連携を図り、森林インストラクター等を紹介した。

また、令和4年度の認定活動の実施について報告等のあった実施団体を含め、実施団体の一覧表を整理した。

その結果として、平成12～令和4年度に認定活動を実施したことのあ
る団体は44都道府県で348団体（前年度は44都道府県で345団体）とな
っている。

(6) その他の活動等

資料請求のあった者に対し、冊子「認定活動の進め方」、パンフレット「子
ども樹木博士のすすめ」などを配布した。

協議会等のホームページの更新等を逐次行った。

【当協議会の URL は http://www.shinrinreku.jp/kodomo_nintei/index.php】

【子ども樹木博士の URL は <http://www.shinrinreku.jp/kodomo-n/main.html>】

3 会員の状況

(1) 令和5年3月末

団体会員 16 団体（前年度：18 団体）

個人会員 49 人（前年度：62 人）

令和4年度 収支決算報告書

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

(単位：円)

区 分	予算額	決算額	差 引	備 考
(収入の部)				
1 会費収入	306,000	264,000	-42,000	
団体会員	180,000	170,000	-10,000	
個人会員	126,000	94,000	-32,000	
2 助成金収入	700,000	600,000	-100,000	
3 雑収入	70,005	89,771	19,766	
認定証代金	20,000	10,100	-9,900	
樹木ガイド代金	50,000	79,670	29,670	
受取利息	5	1	-4	
その他収入		0	0	
当期収入合計 (A)	1,076,005	953,771	-122,234	
前期繰越収支差額	813,317	813,317	0	
収入合計 (B)	1,889,322	1,767,088	-122,234	
(支出の部)				
1 会議費	30,000	0	-30,000	
総会費	25,000	0	-25,000	
その他の会議費	5,000	0	-5,000	
2 事業費	760,000	361,970	-398,030	
機関誌発行費	280,000	257,000	-23,000	
教材等作成費	250,000	0	-250,000	
推進活動費	230,000	104,970	-125,030	
3 事務費	895,000	725,688	-169,312	
事務補助費	550,000	450,000	-100,000	未払金
連絡通信費	100,000	147,814	47,814	
事務用品・コピー費	230,000	120,000	-110,000	未払金
雑費	15,000	7,874	-7,126	
4 予備費	50,000	0	-50,000	
当期支出合計 (C)	1,735,000	1,087,658	-647,342	
当期収支差額 (A-C)	-658,995	-133,887	525,108	
次期繰越収支差額 (B-C)	154,322	679,430	525,108	